

# 植民地朝鮮の文学・文化と日本語の言説空間(3)

(日時) 2015年7月4日(土)~7月5日(日)

(場所) 福岡大学 A棟 201教室

—福岡県福岡市城南区七隈8-19-1 〒814-0180

http://www.fukuoka-u.ac.jp/

(総合進行)熊木勉(福岡大)

7月4日(土)—————		【第4部】(司会)金榮敏김영민(延世大) 15:45-17:45 文体・身体・正体—趙素昂『東遊略抄』(1904-1912)と留学期の文章 문체·신체·정체, 조소앙의 『동유약초(東遊略抄)』(1904-1912)와 유학기 문장 —黃鎬德황허덕(成均館大) (J-別紙/K-별지) 李人植研究ノート(1)—併合前を中心に 이인직연구 노트(1)-합방 전을 중심으로 —咸苔英함태영(韓國近代文学館) (J-53/K-155) 崔南善の東京体験とエクリチュール 최남선의 동경 체험과 글쓰기 —權杜妍권두연(成均館大) (J-59/K-162) (質疑) 柳忠熙류중희(東京大研) 武井一(都立日比谷高)	
Opening Remark	8:20-8:30	懇親会	18:00-
【第1部】(司会)白川豊(九州産業大) 8:30-10:30 日中戦争期戦記テキストにおける朝鮮人表象 —五味淵典嗣(大妻女子大) (J-1/K-92) 中西伊之助の『不逞鮮人』—個人と共同体の連続性・非連続性 —李正熙이정희(日本大院) (J-7/K-99) 雑誌『文学案内』と張赫宙、そして植民地の文学者たち—「朝・台・中 国新鋭作家集」(1936年1月)と「朝鮮現代作家特輯」(1937年2月) を中心に —曹恩美조은미(東京外大研) (J-12/K-104) (質疑) 永島広紀(佐賀大) 相川拓也(成均館大院)		7月5日(日)—————	
【第2部】(司会)芹川哲世(二松学舎大) 10:30-12:30 1930~40年代の吳泳鎮の日本語創作について 1930~40년대 오영진(吳泳鎮)의 일본어 글쓰기에 관하여 —李相雨이상우(高麗大) (J-19/K-111) 咸世徳『舞衣島紀行』再考—『天佑丸』との比較を中心に 함세덕의 『무의도기행』 재고 -- 『天佑丸』와의 비교를 중심으로 —金杜蘭김모란(早稲田大) (J-28/K-120) 日帝末期・鄭寅燮の世界旅行記 일제말기 정인섭의 세계 여행기 —車惠英차혜영(漢陽大) (J-別紙/K-별지) (質疑) 鄭鍾賢정중현(仁荷大) 具仁謨구인모(延世大)		【第5部】(司会)渡辺直紀(武蔵大) 8:30-11:00 李光洙の『少女の告白』(1944)再読 이광수의 [소녀의 고백(少女 의告白)](1944) 다시 읽기 —崔珠瀚최주한(西江大) (J-65/K-168) 李光洙の準備論と改造論の意味—『独立新聞』を中心に 이광수의 준비론과 개조론의 의미—『독립신문』을 중심으로 —李侑珍이유진(東京外大院) (J-74/K-177) 金史良訳「無明」(李光洙)をめぐるメディアと言語 —高橋梓(東京外大院) (J-81/K-185) 李光洙のクィア物語—近代・植民地・セクシュアリティ —Cindi Textor(Univ. of Washington) (J-86/K-191) (質疑) 波田野節子(新潟県立大) 牧瀬暁子(翻訳家)	
Lunch	12:30-13:00	Lunch	12:00-13:00
【第3部】(司会)権明娥권명아(東亜大) 13:00-15:30 植民地検閲官研究と近代文学研究の接点 식민지 검열관 연구와 근대문학 연구의 접점 —Kyeong-Hee Choi(Univ. of Chicago) (J-34/K-126) 書かれたものと語られたもの—二重言語エクリチュールに見られる 通訳・対話・固有名 씩어진 것과 말해진 것 - 이중언어 글쓰기에 나타난 통역, 대화, 고유명 —申知瑛신지영(二松学舎大) (J-別紙/K-130) 崔貞熙の日本語創作について —山田佳子(新潟県立大) (J-39/K-141) 民族と国家の間—1950年代韓国における「東洋」論を巡って —金景彩김경채(東京大院) (J-45/K-147) (質疑) 高恩美고은미(立命館大研) 岸井紀子(翻訳家)		【総評】(司会)沈元燮심원섭(獨協大) 11:00-12:00 大村益夫(早稲田大) John Treat(Yale Univ.) 金在湧김재용(元光大)	
Coffee Break	15:30-15:45		

【主催】日本学術振興会科学研究費補助研究「朝鮮近代文学における日本語創作に関する総合的研究」(2013年度~2015年度)／代表・波田野節子・新潟県立大学教授／課題番号 25284072)

【問合せ】福岡大学・熊木勉研究室 kumaki@fukuoka-u.ac.jp